

## お江戸へようこそ！

緑が丘図書館では、2025新春特集展示「お江戸にようこそ！」を開催。  
さまざまな角度から江戸時代にフォーカスし、時代小説をもっと楽しくする本を展示します！  
古地図を見ながら楽しむもよし、着物の柄や髪形を知るもよし。時代小説大好きな貴方もビギナーの貴女もぜひご覧ください。

お江戸八百八町の **暮らしと知恵** を知るなら↓↓

- ◆ 『江戸ビジュアル図鑑』 双葉社 (213.6/IT)
- ◆ 『大江戸今昔マップ』 新人物往来社 (291.3/材)
- ◆ 『大江戸見聞録』 小学館 (213.6/材)
- ◆ 『江戸の仕事図鑑』 上・下 芙蓉書房出版 (384.3/11)
- ◆ 『江戸の献立』 新潮社 (383.8/IT)



庶民に花開いた **文化・芸術** を知るなら↓↓

- ◆ 『浮世絵動物園』 小学館 (721.8/ウ)
- ◆ 『光琳デザイン』 淡交社 (721.5/ウ)
- ◆ 『江戸絵画を知りたい』 学研パブリッシング (721.0/IT)
- ◆ 『江戸の怪談』 文学通信 (910.2/ウ)
- ◆ 『江戸のきものと衣生活』 小学館 (383.1/マ)

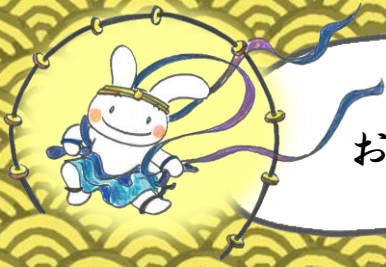
図やイラストで手軽に読める  
わかりやすい本を集めました！

DVDもあります！

- 『超高速！参勤交代』 本木克英/監督
- 『たそがれ清兵衛』 山田洋次/監督
- 『武士の家計簿』 森田芳光/監督







# お江戸へようこそ！小説の巻



## 『家康、江戸を建てる』 門田慶喜 祥伝社

家康が利根川を動かし湿地を開拓して、江戸を築く物語。治水工事・貨幣鑄造・飲料水の確保江戸城の石積み・天守の建設をテーマに、5つの連作短編集となっています。長い年月、家臣たちと模索を続けながら、徳川260年の礎を築き上げる家康の情熱に触れ、力が湧きます。

## 『きたきた捕物帖』 宮部みゆき PHP研究所

宮部ワールド全開の時代小説シリーズ！人情あり推理あり怪談あり、テンポよく進むストーリー展開と二人の「きたさん」の成長に心が温まります。初期の『本所深川不思議草紙』の茂七から、大人になったおでこ、『桜ほうさら』の笙之介まで懐かしい人物が次々登場して、あれもこれも読み返したくなります。

## 『みをつくし料理帖』 高田郁 角川春樹事務所

天涯孤独の少女・漣が料理の道で才能を開花させていく物語。厳しい苦難を一つ一つ着実に乗り越え、料理人として成長していく漣と、それを支える人々、数奇な運命をたどる幼なじみとの邂逅、全10巻の長編ながら最後まで飽きさせない展開です。他に、幕末に北海道開拓の医師の妻として力強く生きた女性を描いた『あい』もおすすめてです。

## 『恋歌』 朝井まかて 講談社

樋口一葉の師・中島歌子の波乱に満ちた生涯を描いた小説。商家のお嬢様として育った歌子は一途な恋を突らせ、水戸藩士天狗党の志士に嫁ぐ。しかしその幸福もつかの間、維新の動乱の中で自らも投獄されてしまう。獄中での過酷な日々を乗り越え、のちに江戸で一大歌塾の師に昇り詰めます。直木賞受賞作。

## 『世に棲む日日』 司馬遼太郎 文藝春秋

激動の幕末を駆け抜けた二人の英傑、吉田松陰と高杉晋作を描いた小説。冒頭の一文「長州の人間のことを書きたいと思う。」の通り、二人の天才を育んだ長州藩に着目し、激動の時代を、静かな筆致で鮮やかに表現しています。



江戸に関する本を集めてみて、その多さに驚きました。  
改めて、江戸もの・時代ものの人気を実感。  
「小説の巻」は個人の嗜好により、かなり偏ってしまいましたが  
何卒ご容赦ください～m(\_\_)m kappa